



台灣問題

外国語学部 中国語学科

201602667

201602656

白 聖壘

大徳 弘志

台湾ガイドマップ



中華民国（台湾）

位置：北は中国大陸、北東は琉球列島、東側は太平洋、南はバシー海峡、西側は台湾海峡

面積：36,197平方キロメートル（面積は九州36,750とほぼ同じである）

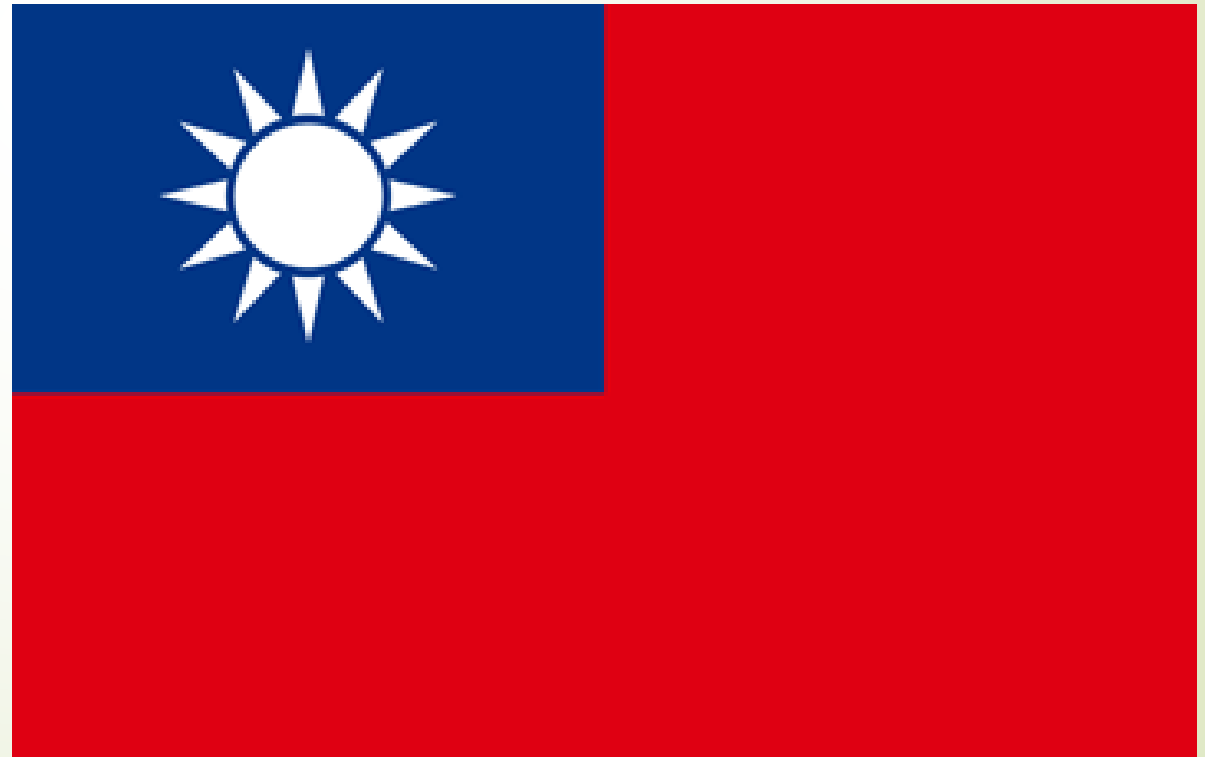
人口：2,357万人（東京都1,374万＋神奈川県910万）

種族：漢人（約人口の97％）、原住民（約人口の2％）

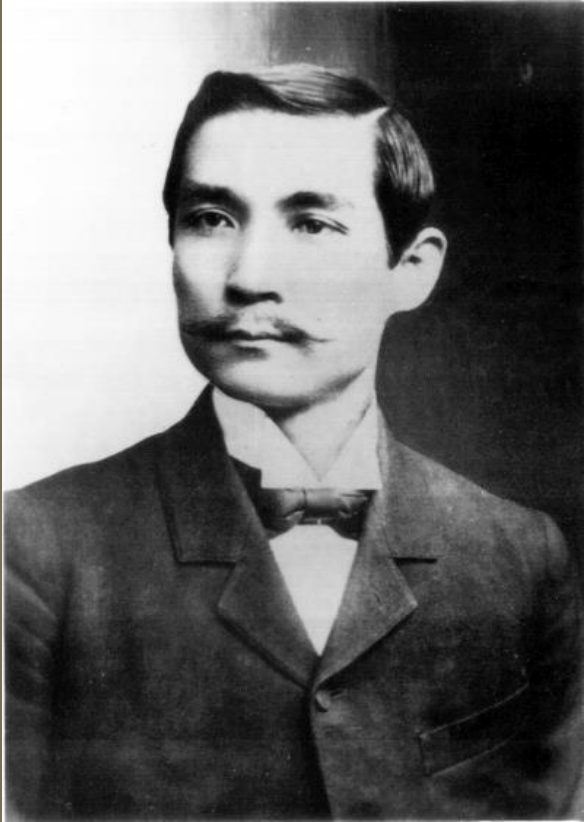
宗教：仏教、道教、キリスト教、イスラム教

現任総統：蔡英文

青天白日満地紅旗



主な中華民国（台湾）に承認された総統



孫文

1912/1/1~4/1



袁世凱

1912/3/10~16/6/6



蔣介石

1928/10/10~1975/4/5



蔣經国

1978/5/20~1988/1/13

「台湾人」とは

主に三つの集団に分かれている。

「**原住民**」（げんじゅうみん）：昔からずっと台湾で暮らしてきた人々

「**本省人**」（ほんしょうじん）：明清時代から、中華民国を経て、1945年までに大陸からやってきた人々

「**外省人**」（がいしょうじん）：1945年以降に大陸から来た人や蔣介石が台湾に撤退したときに連れてきた人々

この発表の狙い

- オランダ政権、鄭氏政権、**清朝**、**日本統治時代**、**国民党政権**のそれぞれの政府のもとに
 - ① **「原住民」**、**「本省人」**、**「外省人」** がそれぞれどのように扱われたのか
 - ② 互いにどのような摩擦が起きたのか、当時の政府はどのように政策を図ったのか

オランダ統治時代（1624－1662）

- ◆ オランダの**東インド会社**は台湾南部を占領することによって、オランダ政権が始まる
だが、政権運営が酷すぎた...

EX：お米や砂糖を略奪、

生産量を増やすため、人々に強引に沿海地域で開墾させたなど

- ◆ その結果、1652年「**郭懷一事件（かくかいいちじけん）**」が勃発
漢族系住民（**本省人**） **v s** オランダ政府軍&台湾人同盟軍（**原住民**）
- ◆ なぜ、本省人は原住民の支持を得られなかったか？
オランダ政府は**原住民を優遇**
eX:原住民の税金を免除、本省人への税収を倍
つまり、オランダ政府のもとに、**原住民＞本省人**





鄭氏政權（1662－1683）

- ◆ 1661年、明の將軍**鄭成功**は福建から軍隊を率いて、台湾に攻撃、オランダ軍を駆逐
台湾における初めての漢民族（**本省人**）政権
特に清朝との対決が鮮明化
「反清復明」、「回帰大陸」などのスローガンを謳う
- ◆ 鄭氏政権のもとに、特に本省人と原住民の大きな**衝突なし**
だが、漢民族の政権のため、漢族系住民（**本省人**）の**社会的地位**は原住民より**高い**
つまり、**原住民 < 本省人**

清朝統治時代（1683－1895）



- ◆ 1683年、**清朝**軍隊の攻撃を受け、鄭氏政權が滅亡。清朝**統治時代**が**発足**だが、清朝政府はあまり台湾を重要視しなかった。

当時の皇帝である康熙帝は「台湾を加えても加えなくても**意味がない**」という。

- ◆ 「**蕃（番）**政策」を施行

- **原住民**を「蕃」と名付け、漢人への**進化が進んでいる**原住民を「**熟蕃**」、全く**漢化していない**原住民を「**生蕃**」

- 「**蕃地**」や「**漢地**」を区別。蕃人（**原住民**）や漢人（**本省人**）は互いの地域に**出入り**することや**開墾**することを**禁止**

だが、**漢人**は**蕃人**の土地を**奪ったり**、**占領したり**することが**多発**

原住民 < 本省人

日本統治時代 (1895–1945)



- ◆ 1874年、**日本**は**台湾出兵**によって、台湾に侵入。1895年、**日清戦争**で**勝った**日本は「下関条約」によって、台湾を**統治**

だが、漢族系住民（本省人）による反乱が度々発生

EX:1895年、「**台湾民主国**」を建立、失敗

1907年、**北埔事件**（ほくふじけん）。日本警察や市民**57人**を殺害

1915年、**西来庵事件**（せいらいあんじけん）。日本人**95人**が死亡

いずれも原住民は参加せず、微動だにしない

- ◆ 日本政府は「**理蕃政策**」を**施行**することによって、**原住民を圧迫** → **原住民 < 本省人**

こうした中、原住民はついに動いた.....それは「**霧社事件**」

https://www.youtube.com/watch?v=slveBloZp0Y&index=5&list=PLwlt ru4bLdHx3nnUrFUBFWwMHuo_4Yx9P

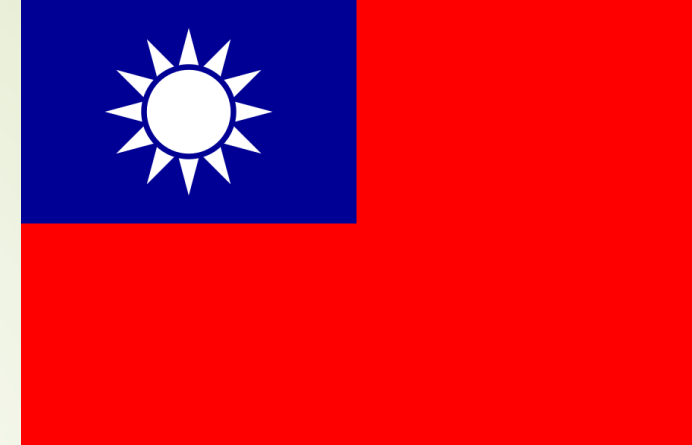
霧社事件（むしゃじけん）

- ◆ 起因：1930年10月7日、霧社の原住民の若者である**タダオ**は理蕃警察を殴った。
- ◆ 背景：「理蕃政策」によって、理蕃警察という職務を設けた。理蕃警察は厳しく原住民を圧迫。
- ◆ 経緯：タダオの父**ルダオ**は村長。長男が警察を殴ったことによって、自分の地位を失うかもしれないと考え、周りの村落の村民を合わせて**300人**を集まり、霧社各地の**駐在所**（交番）を襲った。その後、霧社の**学校運動会**を襲い、**日本人市民140人余り**を殺害。
10月29日、日本軍、警察や親日原住民はすでに占領された霧社を奪還。
11月初め、反乱軍のリーダーである**ルダオ**が**行方不明**。
12月8日、ルダオの後継ぎである長男の**タダオ**が**自殺**。
- ◆ 結果：反乱を起した側は700人死亡。鎮圧した側は日本軍22人、警察6人、親日原住民21人が戦死。
- ◆ 影響：日本統治後期における原住民最大規模の反乱である。日本の政権側は「理蕃政策」を見直し、原住民の地位や漢族系住民の地位がほぼ変わらなくした。

→ **原住民≡本省人**

<https://www.youtube.com/watch?v=UxSq7tDEAYw>

中華民国・国民党蔣介石政権 (1945－1975)



- ◆ 1944年のカイロ宣言、1945年のポツダム宣言によって

「台湾光復」（日本から抜け出したこと）

一つの「省」として、中華民国に編入

これによって、これまで原住民と本省人の一騎打ちの構図は三つ巴の構図に大きく変化

その第三極は大陸から来た「外省人」という人たちである

外省人
本省人×先住民

- ◆ 「狗去猪来」（犬去りて、豚来たる）や「何日君再来」（いつの日君帰る）

当初、多くの本省人は蔣介石や国民党政権を期待していたが、外省人の政治的優位（独裁）になり、外省人による汚職、強姦、強盗、殺人などの事件が多発。さらに、インフレーションによって、倒産、破産になった企業が多かった。その結果、本省人は親日感情が強まっていく

こうした本省人が失望しつつある中、ある40代の女性はある重大事件の導火線に火をつけた

二・二八事件

- ◆ 起因：1947年9月、台北でタバコを販売していた本省人女性は警察に摘発され、政府役人に殴られた
- ◆ 背景：大陸ではタバコを自由販売ができるが、台湾ではできない。本省人の不満がたまり、デモを起こした。
- ◆ 経緯：本省人は台湾語、日本語で話しかけ、話せないものを「外省人」と認め、暴行をする。さらに、本省人、政府（外省人）はそれぞれを言葉で区別
 - 本省人＆日本人：「君が代」を国歌とし、歌えないもの（外省人）を排除
 - 政府（外省人）：大陸から軍隊を送り、北京語をうまく話せないものを本省人と認め、逮捕
- ◆ 結果：国民党政府は武力で鎮圧、関係者を処刑。1992年台湾の行政院の調査によると、犠牲者数を18,000人～28,000人と推計。
- ◆ 影響：本省人側：反外省人、反国民党の反射として「親日感情」がさらに強まる。
 - 政府（外省人）側：本省人への不信感、戒厳令の発令

戒厳令

- 戒厳令とは：

国の司法権、行政権、立法権を一時的に軍に移されること、一般的に問題が発生した地域にしか効力が生じない。

- 台湾の戒厳令

- ・ 結社、言論、出版の自由が厳しく制限されていた。
 - ・ 政治批判の出版物はすべて発行禁止。
 - ・ 裁判にもかけず、理由もなく、疑いがあれば即逮捕・処刑。
- これらの行為が一地域にとどまらず、台湾全土で行使した。

共産党と国民党

<https://www.youtube.com/watch?v=DTGGWFdcmHI>

- 1949年10月1日 中華人民共和国樹立
-
- 同年12月 蒋介石率いる国民党が台湾に逃れる
-
- 1952年 日本と台湾が平和条約を調印(日華平和条約)
-
- 1958年 福建省に隣接する金門島(台湾領)に中国が砲撃(金門砲戦)
-
- 1971年 アルバニア決議で常任理事国の権限を中国が継承&台湾、国連脱退
-
- 1972年 日中国交正常化 日本と台湾との国交が断絶
-
- 1975年 蒋介石死去
- ↓
- 蒋介石の息子、蔣経国統治の時代へ
-



一つの中国

● 中華人民共和国の地図



● 中華民国の地図

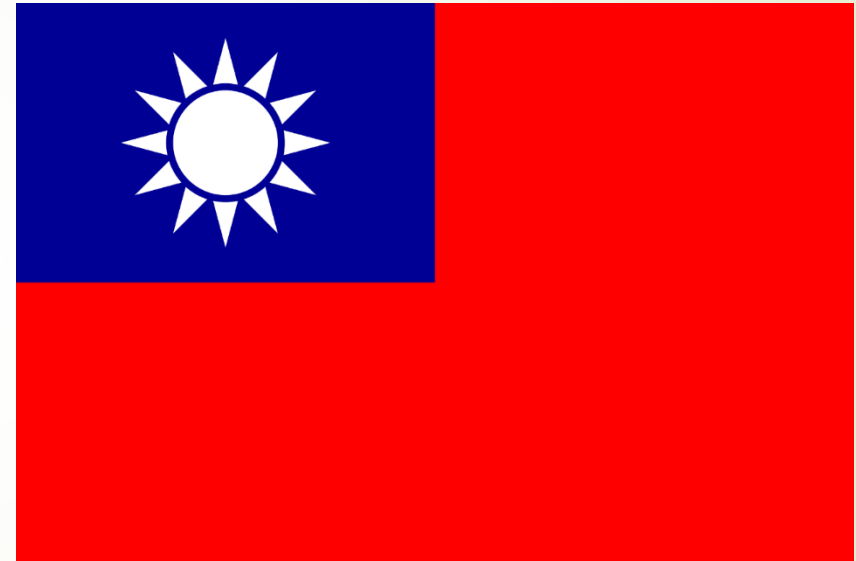


一つの中国

どちらも自分が**正統な**政府であると主張している



⇐にらみ合い⇒



／ 解放台湾！

※台湾を回収する

／ 反攻大陸！＼

※大陸を取り戻す

■中国：決して譲ることのできない**神聖な任務**である
いざとなれば武力行使する。
毛沢東死後は平和交渉路線へ入る。

■台湾：蒋介石⇒決して譲れない、
武力反攻を目論む(反攻大陸)
蔣経国⇒武力反攻は断念、
大陸とは絶交状態に入る(三不政策)。

現在、台湾には「台湾人」としてのアイデンティティも発生しており、以前よりも「中国人」意識が強くはないがこれらはまだまだ少数派

三不政策

- 当時の中国は武力での「台湾解放」 →平和交渉での「平和統一」
- これに対し蔣経国は…

「中華民国は如何なる場合においても中共政権と交渉せず、大陸を取り戻し同胞たちを救うこの**神聖なる任務**は決して変わることはない。」と発言していた。

- この発言の後押しもあって民国政府は「**接触しない、交渉しない、妥協しない**」の政策を実行し大陸との一切の接触を拒んだ。
- 1979年、中国側が「**三通政策**(通商、通航、通郵)」を持ち掛けたが、台湾は拒否。
- 2001年になってようやく一部の規制が緩和され中国と台湾の間で連絡通路が開通した。
- 2008年で大幅に改善する
- <https://www.youtube.com/watch?v=c3OrI4rtb4E>

参考文献

○中華民国總統府ホームページ：

<https://www.president.gov.tw/Default.aspx>

○国土交通省ホームページ：

www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h27/hakusho/h28/data/html/ns015010.html

○台湾総督府檔案

○林淑美 『清代台湾の「番割」と漢・番関係』 名古屋商科大学 2004年

○若林正丈 『台湾抗日運動史研究』 研文出版社 1983年

『台湾 変容し躊躇するアイデンティティ』 筑摩書房 2001年

- ・ 中華人民共和国駐日本国大使館

- ・ www.china-embassy.or.jp/jpn/

- ・ 外務省-日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明

- ・ www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/nc_seimei.html

- ・ 原住民族委員会

- ・ www.apc.gov.tw/portal/index.html

- ・ J-stage 『台湾先住民族社会の戦後過程』 森田 健嗣

- ・ アジア・アフリカ地域研究所 第15-1号 2015年11月

- ・ 宮崎公立大学 『「台湾人」とは何か～台湾におけるサブカテゴリーの形成過程と現状～』 第三章 古川 瑠衣
2014年